

## 編集後記

本誌が読者の皆さんのお手元に届く頃は、本格的な夏の暑さが始まっていると思いますが、掲載報文の最終校正が終わった6月末はまだ梅雨前線が日本列島に近づいたり離れたりをしています。ここ何年もの間「今年の梅雨は普通ではない」というようなことを毎年言ってきたような気がします。どうも“普通ではない現象”は気象だけではなく、経済の長期にわたる低迷、重油の高騰、繰り返しおきる通り魔事件、偽りの食材原産地名などなど社会全体、世界全体で重なるように次々と発生しているように思えます。一方ではIT技術、バイオ技術、通信技術、制御技術、医療技術などなどにめざましい進歩が見られます。地球規模での温暖化対策、排気ガス規制などもゆっくりではありますが着実に実施されています。

ハード、ソフト両面での改善・改良策が推し進められ、技術レベルがこんなに高くなっているにも関わらず、どうして“普通ではない現象”が際限もなく発生するのでしょうか？

我々が身をおく建設・建築の世界でもハード面、ソフト面ともに“普通ではない現象”に対する改善・改良・対応策がどんどん導入、実用化

されています。

数ヶ月前に「安全特集」に着手して、ふと「去年も一昨年も同じテーマの特集を組んだよな」と思いました。年を追うごとに「安全対策のレベルが高くなっている」「さらに細かい所までカバーするようになってきた」ことは事実です。

以前は「機械の使い手の技でカバーしていた部分」が機械化と施工企画の進歩・成長によって「技を持っていなくても同じ結果が出せる」状況に少しずつではありますが近づいています。

しかし安全に関しては、今でも「ヒヤリハット」「指差し確認」「ヒューマン・エラー」などなど自らが基本的なところで体を使って行う安全動作が実行されたり、あるいは動作の間違いによるトラブルが発生したりしています。技術、科学が如何に進歩しようと、当事者である人間の意識、感性、意欲（文学的な表現をするなら“魂”）が安全確保のための「最後の決め手」ではなからうか？ という思いを持ちました。

今月号を発行するに当たって報文執筆をいただいた方々、編集方針検討段階でご意見・協力をいただいた編集委員会メンバー、発行までの様々な調整をいただいたJCMA事務局の方々に感謝します。

(金津・岡本・富樫)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

### 編集委員

廣松 新	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
米田 隆一	農林水産省
小沼 健一	(独)鉄道・運輸機構
早川 正昭	株高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路株
高津 知司	本州四国連絡高速道路株
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設株
和田 一知	川崎重工業株
安川 良博	株熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機株
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設株
村上 誠	新キャタピラー三菱株
宮崎 貴志	株竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業株
中山 努	西松建設株
斉藤 徹	株NIPPOコーポレーション
三柳 直毅	日立建機株
岡本 直樹	山崎建設株
中村 優一	株奥村組
石倉 武久	住友建機製造株
京免 継彦	佐藤工業株
久留島匡繕	五洋建設株
吉越 一郎	株間組
藤田 一宏	施工技術総合研究所

### 8月号「河川、港湾、湖沼、海洋における建設施工特集」予告

- ・地球温暖化に伴う気候変動が水関連災害に及ぼす影響
- ・運河の魅力再発見プロジェクト
- ・美和ダム恒久堆砂対策の概要と試験運用
- ・磯焼け対策
- ・没水型低水護岸急速省力化工法
- ・新海面処分場の延命化を可能にする真空圧密ドレーン工法とドレーン打設船『VCD-Triton』
- ・人口干涸の施工およびモニタリング結果
- ・海洋深層水取水事業と、その応用例 (ディーブシーテラピー施設など)
- ・根入れ式鋼板セル工法の施工
- ・環境・景観・利用に配慮した新しい漂砂制御技術 DRIM (ドリム) 工法
- ・龍門 (核四) 計画循環冷却水放水路工事—外洋における没水型鋼管矢板井筒工法による水中放水口並びに放水路トンネルの建設—
- ・インドネシア SSWJ (サウススマトラ・ウエストジャワ) ガスパイプラインプロジェクト (フェーズ1) における海底パイプライン建設工事
- ・無線遠隔操縦式水陸両用ブルドーザの活用状況

## No.701「建設の施工企画」 2008年7月号

〔定価〕1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成20年7月20日印刷

平成20年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322